

ステークホルダーエンゲージメント

昭和産業グループでは、各ステークホルダーに向けた情報開示と、様々な場面における対話を進めています。 経営の透明性を高めることでステークホルダーからの信頼を得るとともに、当社グループのユニークなビジネスモデルに 対する皆様のご理解を一層深めていただくことを目指し、対話の機会の増加や適時・適切な情報開示をこれまで以上に 進め、パートナーシップを更に推進します。

中期経営計画 23-25「ステークホルダーエンゲージメントの強化」

適切な情報開示をタイムリーに行い、ステークホルダーの皆様との対話を推進することで信頼向上に努めます。更に、双方向のコミュニケーションを促進し、ステークホルダーや社会からの期待や懸念を把握し、社会的責任を果たすための取り組みを進めていきます。

▶ ステークホルダーエンゲージメントの強化施策

従業員

- ■D&Iのドラスティックな推進
- 「ダイバーシティ経営宣言」・「健康宣言」の実践
- 各種アンケートの実施、フォーラム・交流会等の開催
- 戦略的人財育成の促進
- 人事制度の運用(上司と部下の四半期面談の 実施等)
- キャリアデザイン面談の運用
- 従業員エンゲージメントの向上
- エンゲージメントサーベイの実施(1回/年)
- インナーブランディングの強化
- 健全な労使関係の継続
- 定期的な対話機会の提供



お客様・お取引先

- ●事業シナジーを追求した営業体制への進化
- 業態別・顧客別ワンストップ型営業組織への変革
- 「消費者志向自主宣言」の実践
- 安全で高品質な製品・商品の提供
- お客様相談センターによる対話、お客様の声を生か した商品開発
- サステナビリティ調達の実現
- 取引先に対してアンケートや面談実施 (人権、自然環境、労働環境等) - サプライチェーンマネジメントの実施
 - 情報発信力の強化
 - SNSによる積極的な発信
 - コーポレートサイトのリニューアル

VVV

株主•投資家

- 継続的、安定的な利益還元
- 長期的に安定した配当の継続
- ●個人株主、国内外の機関投資家へのIR強化
- 株主戦略に基づくIR推進
- 株主アンケートの実施、株主通信の制作
- IR説明会(決算説明会、個人投資家向け説明会等) の開催
- 決算報告書等の英文開示の充実
- 統合報告書の品質向上
- ・トップとの対話機会の提供



地球環境・地域社会・ NGO / NPO

- 「サステナビリティ基本方針」の実行
 - 1) 脱炭素社会の実現
 - 2) 水資源の有効活用
 - 3) 食品ロスの削減
- 国内外のイニシアチブへの賛同
- TCFD提言に沿った情報開示
- 事業所周辺での地域貢献・交流の継続
- 「穀育」の取り組み促進
- NPOと連携した「食の提供」
- WFPやフードバンクを通じた支援

ステークホルダーとの対話

全てのステークホルダーに、当社グループが目指す方向性をより深くご理解いただくことを目的として、IR活動を推進しています。対話の中でいただいた様々なご意見やご要望は、当社グループの企業活動に反映していくとともに、穀物を通じてお客様の課題を解決する「穀物ソリューション・カンパニー」としての価値の創出に繋げていきます。

主な ステークホルダー		ステークホルダーからの関心・期待と エンゲージメント向上施策の成果・影響	
従業員		 ・人権尊重 ・人事制度の適切な運営 ・エンゲージメント・働きがいの向上 ・働きやすい職場・ワーク・ライフ・バランスの推進 ・D&I (ダイバーシティ&インクルージョン) ・人財育成、教育 ▶ 施策は左ページの通り ・「マルチステークホルダー方針」 ★ https://www.showa-sangyo.co.jp/corporate/sustainability/showasangyo/stakeholder/ ・昭和産業健康宣言 ・女性管理職比率10.8%(2025年4月1日現在) ・「えるぼし(2つ星)」2021年取得 	
お客様・お取引先	THE THE PARTY OF T	 ・安全・安心で高品質な製品の安定的な供給 ・公正な事業慣行、商標取引 ・多様な穀物を取り扱う強みを生かした提案 ・協働による品質向上 ▶ 施策は左ページの通り ・「マルチステークホルダー方針/パートナーシップ構築宣言」 https://www.showa-sangyo.co.jp/corporate/sustainability/showasangyo/stakeholder/ 	
株主・ 投資家		・適切な情報開示 ・透明性の高い経営 ・個人株主、国内外機関投資家へのIR強化 ・企業価値の向上 ・トップとの対話機会の提供 ・継続的、安定的な利益還元 ▶ 施策・実績は左ページおよび下表の通り	
地球環境・ 地域社会・ NGO/ NPO	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	・国内外のイニシアチブへの賛同 ・NPOと連携した「食の提供」 ・再生可能エネルギーの利用 ・CO₂排出量削減、廃棄物削減 ・工場・拠点周辺地域への貢献・交流 ・誠実な対話と活動 ▶ 施策は左ページの通り ・工場見学の活性化 ・各事業所における地域社会との継続的対話	

IR に関する活動状況 (2024 年度)

「フェア・ディスクロージャー・ルール」に則り、速やかな開示を行うことを基本姿勢とし、正確かつ迅速、積極的に情報を提供することで、ステークホルダーの皆様のご要望にお応えしていきます。

活動	実績	内容
アナリスト向け決算説明会	20	機関投資家や証券アナリスト向けに、5月(4Q)、11月(2Q)に決算、取り組み内容などをご説明。
アナリスト向け工場見学会	10	当社主力の鹿島工場(サイロや岸壁、製造工程等)をご案内。
アナリスト・機関投資家向け個別IR	41回	機関投資家や証券アナリスト向けに、都度、事業内容や決算、取り組み内容などをご説明。
機関投資家向けスモールミーティング	10	機関投資家向けに、事業内容や中期計画内容・進捗などをご説明。
個人投資家向け会社説明会	20	個人投資家向けに、事業内容やビジネスモデル、株主還元などをご説明。
大株主向け個別決算説明	60	個別に5月(4Q)、11月(2Q)に決算や取り組み内容などをご説明。

61 昭和産業グループ 統合報告書 2025 昭和産業グループ 統合報告書 2025

情報発信力の強化

各種ステークホルダーの皆様に向け、企業情報やIR情報、サステナビリティ情報を集約して分かりやすくお示しすることによ り、昭和産業の認知度向上と理解の促進を図ることを目的として、2024年6月に当社のホームページをリニューアルしました。

特にコーポレートサイトでは、IRページの階層を見直し、アナリスト・投資家の皆様にとっての見やすさを追求したページ構成 とした上で、迅速かつ積極的な情報開示を進めています。また、ECサイトの充実による利便性の向上や、環境への取り組み事 例の紹介など、より深く当社の特長をご理解いただくための一助としています。



SHOWA







株主・投資家情報トップページ

消費者志向自主宣言

当社では消費者志向自主宣言を行い、持続可能で望まし い社会の構築に向けて消費者志向経営を推進しています。 お客様の信頼と満足を獲得することで、社会価値の向上を 目指します。

「フォローアップ活動報告」では、サステナビリティ推進に 向けた取り組みや、お客様・社会の要望を踏まえた商品の改 善・開発事例を紹介しています。



フォローアップ活動報告

詳しくは以下URLより当社ホームページをご覧ください https://www.showa-sangyo.co.jp/LinkClick.aspx?fileticket=duB%2bCSgnz3U%3d

https://www.showa-sangyo.co.jp



ブランドサイトトップページ



ピックアップ情報トップページ

理念

昭和産業は、1936年(昭和11年)の創立以来、「人々の健康で豊か な食生活に貢献する」ことをグループ経営理念に、大地の恵みである 穀物を余すところなく、様々な食品素材や配合飼料などに加工し、皆 様の食生活にお届けする事業に取り組んでいます。

取り組み方針

- 1. 経営トップのコミットメント
- 2. コーポレート・ガバナンスの確保
- 3. 従業員の積極的活動(企業風土や従業員の意識の醸成)
- 4. 事業関連部門と品質保証部門、お客様対応部門及び法務部門等の
- 5. お客様への情報提供の充実・双方向の情報交換
- 6. お客様・社会の要望を踏まえた改善・開発

会長メッセージ



当社グループは「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」 というグループ経営理念の下、「穀物ソリューション・カンパ ニー」を標榜し、大地の恵みである穀物を余すことなく生か し、人々に安全・安心な「食」を安定的にお届けしております。 当社グループは、食品メーカーとして日本一の穀物取扱量 を誇る当社グループならではの強みを生かし、多種多量の 穀物から加工された食品素材とその加工技術を組み合わせ た食のトータルコーディネーターとして、お客様との対話を 通じて真のニーズを発掘し、新たな価値を提供することがで きる企業グループに発展・成長を続けております。

社会に役立つ会社、社会にとって必要だと共感、評価い ただける唯一無二の企業集団として、更なるグループガバ ナンス体制の整備、強化を推進してまいります。

グループ全体のガバナンス体制の強化

2025年度は、「中期経営計画23-25」の最終年度であり、 持続的成長の基盤を作るため、基盤事業の強化、事業領域の 拡大などに積極的に取り組み、現在ではグループ企業も41 社まで増加し、多様な事業を展開する企業集団に成長しまし た。今後、中長期的な収益性、生産性向上と更なる持続的成 長を実現するためには、グループガバナンスの進化が必要で す。2023年4月に実施した営業部門の組織改編に合わせ、 事業を核としたグループ全体の事業ポートフォリオ・マネジメン トを高度化、強化する仕組みであるROICを導入し、グループ 全体のシナジー発揮や一体的な経営管理、収益確保を目指し ております。この事業ポートフォリオ・マネジメントを継続的に

実現するため、当社事業担当役員に予算、実績等の管理を権 限委譲することで、グループ会社の業績をモニタリング、評価 するシステムを導入しております。また、本年4月1日にはコー ポレート部門の企画部グループガバナンス室を独立させて「グ ループガバナンス部 | を設置しており、経営の最重要課題の 一つとして、コーポレート・ガバナンスの実効性確保に取り組 んでまいります。

昭和産業グループ行動規範

当社グループは事業環境の変化に対応し、持続的な成長 を図るため、リスク管理体制の強化は勿論のこと、法令遵守 を徹底するため、「昭和産業グループ行動規範」を定めてい ます。この行動規範のベースとなる行動指針「SHOWA魂 (だましい)」の周知徹底を図ることにより、コンプライアン ス、企業倫理の徹底、ブランド力、付加価値の向上、環境負 荷低減等に努めてまいります。また、改めてコンプライアン スの徹底を経営の最重要課題と位置付け、当社グループを 『あらゆる不正行為を生まない、不正を絶対に許さない』企 業グループにするために全力で取り組んでまいります。

当社グループは、今後も「穀物ソリューション・カンパニー」 として、皆様の信頼、ご期待にお答えするため、更なるグルー プガバナンスの進化を目指し、しっかり目線を合わせ「90年、 そしてその先へ」グループ全従業員一丸となって前進してま いります。

皆様の引き続き変わらぬご支援を心からお願い申し上げ ます。

63 昭和産業グループ 統合報告書 2025 昭和産業グループ 統合報告書 2025 64